

夢いっぱい

第8号 令和4年12月1日

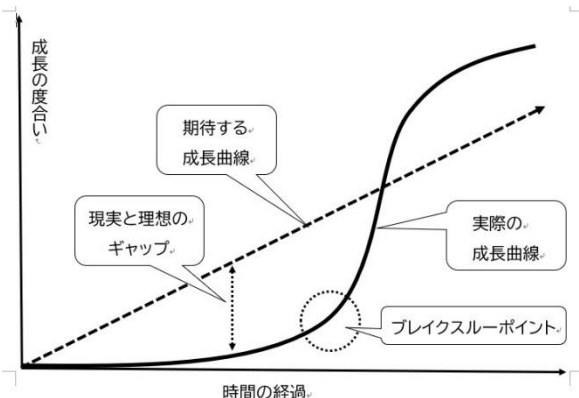
心豊かな子 自ら学ぶ子 たくましい子

佐世保市立山手小学校 嶋山 正彦

継続は力 ～ブレイクスルーポイントを越えて～

昔、学級担任をさせていただいていた頃、ある保護者から、「うちの子は努力をしてもなかなか身につかない。結果が出ない。どうすればいいでしょうか。」と相談を受けることがありました。

頑張っているお子さんの姿を見て、それに相応する成果を獲得させてあげたいと思うのは親として当然の心情だと思いますし、我々教育に携わる者も同じ気持ちです。



「努力曲線と成長曲線」についてご存じでしょうか。上のグラフのように表される努力と成果の度合いをグラフにしたもののことです。誰でも努力に正比例して成果も上がっていくと思いますし、そうあってほしいと期待します。でも実際は理想と現実のギャップがあり、確かな成果が出るまでには時間がかかると言われます。冒頭の「努力してるのに成果につながらない」はこの状態です。残念なことに成果が現れる前に「自分には能力がない」「自分にはできない」とネガティブに受け止め、努力をやめ、あきらめてしまう人も多いようです。グラフから分かるように成果が現れるのが、ブレイクスルーポイントといわれる地点からで、ここを超えると、一気に(爆発的に?)成果が現れ、想像以上のスピードでの成長が期待できるといわれます。このことを踏まえながら子どもたちの努力の姿を見守りたいところです。

本校3年生児童の「百ます計算」の3か月間の結果一覧に目を通しました。「6分以上かかっていた記録を、1分30秒台まで伸ばした児童」をはじめ、それぞれが確かな成果を残しています。その過程においては、どの子も例外なく「壁」にぶつかり、伸び悩みも味わいました。当然毎回記録を伸ばす子はいませんし、毎回全力で取り組んでも記録が伸びるときとそうでない時があります。言うまでもありませんが、大切なのはそれ続けることと、続ければいつか必ず結果が出ると信じることだと思います。結果一覧からは、3年生の多くの子どもたちが継続の末、ある日突然驚異的に記録を伸ばしたことが伺えました。あきらめることなく続けたことを讃えるとともに、秘めた可能性のすばらしさをあらためて実感したところです。

継続は力。ご家庭におかれましてもブレイクスルーポイント越えをめざす子どもたちに励ましの一声をいただけると幸いです。 「たゆまざる 歩みおそろし かたつむり」北村西望

12月の主な行事予定

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
				少年の日 チャレンジタイム 人権集会		
4	5	6	7	8	9	10
	チャレンジタイム		授業参観（低） 親子レク（1年） 読書集会	授業参観（5年） 思春期講演会	授業参観（中） メディア講習会（3・4年） 学校保健委員会	
11	12	13	14	15	16	17
				授業参観（6年） 性教育セミナー		クリーンアップ作戦
18	19	20	21	22	23	24
家庭の日	チャレンジタイム 徳育の日・食育の日	居住地校交流（4年）	クラブ活動		2学期終業式	
25	26	27	28	29	30	31
	冬季休業日					



今年も最終月を迎え、残りの登校日数も17日となりました。たくさんの行事に向けて力を尽くした2学期。どの学年もそれぞれに立派に取り組み、一定の成果を残すことができました。一部紹介します。

- 6年生・・・修学旅行では礼儀正しい節度ある行動が光りました。天気にも恵まれ、全員そろって出発し、たくさんの思い出とともに元気に帰ってくることができました。
- 5年生・・・宿泊体験学習での協働を通して、気づき・考え・行動する力を高めるとともに、友達との絆を深めました。また県立大での講義受講を通して視野を広げることができました。
- 3・4年生・・・音楽発表会に向け、中学年児童が学年を超えて大きな一つのを創り上げました。アルカス SASEBO で披露した「YOU&I」の澄んだ歌声が今も耳に残って離れません。
- 1・2年生・・・秋の遠足では、烏帽子岳にて秋の宝物（秋の自然物）とたっぷりふれあいました。1・2年生、学年を超えてともに過ごす中で一段と仲良くなりました。

学校評価のご協力について（お願い）

近日中に文書配布を予定しておりますが、今年も学校評価についてご協力をお願いしたいと思います。本校の教育活動に対しまして、保護者の皆様、地域の皆様から率直なご意見をいただき、今後の学校運営に反映していきたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。